

## 「散策ガイドえどぶら」企画・制作業務委託に係るプロポーザル【質問及び回答】

令和8年4月15日

No.	区分	質問	回答
1	仕様書	仕様書10①に「画像は受託事業者が撮影した画像も使用可能」とありますが、同③に「本誌の著作権は区に帰属するものとする。」ともあります。受託者保有の画像を使用した場合、画像の著作権は受託者に留保されますか？また、画像以外のコンテンツを使用した場合も、該当のコンテンツは受託者に留保される認識でよろしいでしょうか？	冊子自体の著作権は区に帰属しますが、中身で使用する画像等は受託者側に帰属します。
2	仕様書	仕様書8記載のページ数について日本語版は30～40ページ程度とありますが、英語版とやさしい日本語版は、内容をターゲットに合う内容に編集し、ページ数を24ページなど変更してもよいでしょうか？	外国籍の方のニーズに沿った内容であれば、日本語版よりページ数が少なくなるのは構いません。
3	仕様書	「散策ガイドえどぶら」というタイトルを変更する提案は可能でしょうか？	タイトルの変更はできません。ただし、タイトルに添える形で副題等をご提案いただくことは可能です。
4	仕様書	「基本情報」内、「現行の掲載情報をベースとしたエリア単位での区の見どころ、施設、史跡等の魅力資源」とございますが、現行の冊子の「小岩エリア」(P13)～葛西エリア(P31)については、掲載するスポット、エリアごとの地図、「おすすめ散策コース」を掲載する点など、基本的には現行の内容を踏襲し、大きく変えない方針でしょうか。	各エリアの紹介ページは現在掲載している情報（地図・おすすめの散策コース・スポット情報）を踏襲しますが、提案によって追加することは可能です。またレイアウト等のデザインはご提案ください。
5	仕様書	「企画情報」内、「～受託者の提案により区と協議のうえ掲載」とございますが、区の方で掲載必須と考えている素材や特にPRしたい素材はございますでしょうか。	区からの指定はございません。
6	仕様書	やさしい日本語とはどのようなものをイメージされているか、ご教示いただくことはできますでしょうか。	文部科学省のホームページにて公開されている、「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」をご参照ください。

No.	区分	質問	回答
7	仕様書	英語及びやさしい日本語版を作成するにあたり、ターゲットは江戸川区を含め日本在住の外国人の方か、インバウンドの方のどちらでしょうか	どちらもターゲットではありますが、観光客をはじめとした来訪者の方を意識しつつ在住の方でも活用できる内容を想定しています。
8	仕様書	日本語版のページ数は30～40Pとなっておりますが、英語版-やさしい日本語版は抜粋としてページが少なくなる想定でしょうか。	項目2と同様の回答です。
9	仕様書	部数につきまして、英語版-やさしい日本語版は各1500部、日本語版と併せて計11,000部の認識で相違ないでしょうか。	英語版とやさしい日本語版を別々に制作するか、1冊にまとめるかは効果を踏まえてご提案ください。
10	仕様書	外国籍の方の情報入手や活用の効果を高めるためにウェブサイトやSNSなどの発信方法を組み合わせることを可とすると記載がございますが、こちらは江戸川区さまの方でお持ちのSNSやWEBでの発信か、自社媒体等を活用した発信かについてご教示いただけますでしょうか。	いずれも提案可能です。ただし、受託者側の媒体を使用する場合は契約期間終了後も公開できることが条件になります。
11	仕様書	デザイン校正-色校正-文字校正各3回と記載がございますが、通常のパフレット制作ですと、デザイン校正と文字校正を兼ねたPDFでの校正が2回、色校正が1回のことが多いと存じますが、各3回は必ず行う前提でしょうか。	原則、各段階で3回程度行う想定です。
12	仕様書	色校正につきまして、本紙校正または簡易校正のいずれを想定されているか、ご指定がございましたらご教示ください。	簡易校正を基準に最終的には本紙校正も行う想定です。

No.	区分	質問	回答
13	仕様書	納品は江戸川区役所へ一括納品でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
14	仕様書	本冊子は「イメージアップ」「誘客」「区民の愛着醸成」など複数の目的が示されていますが、特に優先して達成したい成果（来訪促進・回遊・認知等）の優先順位があればご教示ください。	優先順位はありません。
15	仕様書	本冊子において、 (1) 特に重視される対象者層の優先順位 (2) 外国人については観光客／在住外国人のどちらを主に想定するか (3) 利用シーン（来訪前／来訪中など）の想定 についてご教示ください。	(1) および (2) については国籍に関わらず項目7の回答と同様です。利用シーンについては指定がありませんのでご提案ください。
16	仕様書	紙現行ガイドブックの構成（コース紹介＋テーマ別情報）を踏襲する前提か、情報の再整理・再構成（掲載内容の取捨選択や見せ方の再設計）が可能か、編集上の裁量範囲をご教示ください。	テーマ別情報（区の魅力を伝える企画情報）は、掲載する内容からレイアウト等のデザインまで全てご提案ください。各エリアのコース紹介については項目4と同様です。
17	仕様書	紙媒体の地図とGoogleマップ等のデジタルツールについて、どのような役割分担を想定されているか、また、既存のデジタル連携の利用状況や課題・今後の活用意向があればご教示ください。	現状、デジタル連携の利用は行っていません。利用者のニーズに合わせて検討していきたいと考えています。デジタルツールの活用については、主に外国籍の方をターゲットにしたものを想定していますが、現在の観光マップのトレンド等をふまえご提案ください。
18	仕様書	新たに制作された江戸川区PRキャラクターについて、本冊子での活用レベル（案内役として全面活用／一部活用／限定的活用）の想定をご教示ください	全面活用を想定しています。

No.	区分	質問	回答
19	仕様書	本冊子の主な配布場所・配布方法について、現時点で想定されているチャンネル（区役所、観光案内所、駅、施設、イベント等）があればご教示ください。	配布場所は区施設（区役所含む）以外に、都内の一部観光案内所（江戸川区にはありません）、都の関連施設、区内の一部ホテルです。他に考えられる効果的な配布場所・方法があればご提案ください。
20	仕様書	写真素材について、区が保有する素材の提供範囲、新規撮影の可否、許諾取得の範囲をご教示ください。	現ガイドで使用している写真含め、区が権利を有しているものであれば提供可能です。受託者にて新たに写真撮影をすることも可能ですが、その場合の許諾手続きも含めて受託者にて行ってください。
21	仕様書	掲載スポットについて、必須掲載箇所の指定、地域バランス等の選定基準があればご教示ください。	基本情報は、現行の掲載内容をベースとし、提案による追加も可としています。また、企画情報は、仕様書に記載のターゲットを基準にご提案ください。